



## 被災地の学校へ ベルマーク 200 万点を寄贈

2019年7月16日

MS & ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、2018年度に全社を挙げて収集した、ベルマーク 200 万点を被災地の学校へ寄贈しました。

2018年度は、大阪府北部地震や北海道胆振地方地震等、大規模災害が多く発生した年となりました。当社は、5,300社を超える企業、地方公共団体、当社代理店・扱者の皆さま、また、当社ホームページをご覧になったお客さまと一緒に収集活動を実施、被災地の学校や地域密着活動の一環として地域の学校へ寄贈を行いました。

### 1. 2018年度収集結果

(1) 収集ベルマーク点数

200 万点

(2) 寄贈先

14 校

都道府県	北海道	岩手	仙台	福島	茨城	栃木	千葉	大阪	計
寄贈先	2校	1校	2校	2校	2校	1校	1校	3校	14校

### 2. 背景

- ・「すべての子どもに等しく豊かな環境で教育を受けさせたい」というベルマーク教育助成財団の理念に賛同し、2000年4月から協賛企業として参加しています。
- ・損害保険会社で唯一のベルマーク運動への協賛企業として、全社を挙げて収集活動に取り組み、2011年3月の東日本大震災発生以降は、主に被災地の学校へ寄贈しています。
- ・寄贈したベルマークは、1点=1円に換算されてベルマーク預金となり、その預金で一輪車や児童書籍などの学校設備や教材が購入できます。寄贈先の学校では、子どもたちのために、大切に活用いただいています。
- ・今後も当社では、ベルマーク運動の輪を広げ、被災地や地域の学校を支援する取り組みを継続していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

